平成20年度（対19年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　20　年　5　月　28　日

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	小笠原　朗	電　話	482-0924

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	9937	事務事業名称	固定資産取得事業（維持管理課）	短縮コード	経常	9937	臨時	

予算区分	会計	62	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	02	建設改良費	目	02	固定資産購入費

区　分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

安定給水確保のため，古くなった漏水探知機を更新して漏水の減少を図る。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

漏水による利用者の負担額を軽減することが求められる。

総合計画の施策体系		
５本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして
大項目（節）	04	水道
中　項　目	01	水道
小項目（施策）	03	災害・環境対策の強化
細　項　目	02	有効率の向上
実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	～	計画事業費	千円

２．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	給・配水管等の水道施設
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 漏水探知機の購入 ※平成20年度に計画していること： なし
意図（何を狙っているのか）	安定供給の向上（水道利用者から見て、安心して使用出来る水道環境の構築のため必要）
結果（どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外

区　分			単位	１８年度	１９年度		２０年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	給水能力	m3／日	98,079	98,079	98,079	98,079
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	固定資産購入費	千円	1,502	840	819	0
	指標２						
	指標３						
成果指標	指標１	１日最大給水量	m3	60,758	63,800	59,082	64,800
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	9937	事務事業名称	固定資産取得事業（維持管理課）	所属名	維持管理課

			単位	１８年度	１９年度		２０年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	1,502	840	819	0
		その他	千円				
	主な事業費の内訳			○作業車購入 812千円	○漏水探知機購入 840千円	○漏水探知機購入 819千円	なし
人件費(B)			千円	166.3	52	2,840.3	0
トータルコスト(A)＋(B)			千円	1,668.3	892	3,659.3	0

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	漏水を探すことにより有効率の向上につながっている。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	管の更新事業を推進しているが老朽管が多く更新が追い付いていないのが現状である。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	物品の購入のため、事業体が行うものである。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	現状の対象及び意図で継続していかねば，安定供給を継続することはできない。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☑ 可能性がない	最善をつくしての工具器具類等の取得であるため，これ以上の有効性や効率性は求めることはできない。
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 臨時的任用職員等の活用 ☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称 1：　　実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2：　　実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある ☐ ない	

コード	9937	事務事業名称	固定資産取得事業（維持管理課）	所属名	維持管理課

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☐ 改革・改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止
- ☑ 休止
- ☐ 現状のまま継続

本年度は機器の更新予定がないため。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費		
		削減	不変	増加
成果	向上	☐	☐	☐
	不変	☐	☑	☐
	低下	☐	☐	☐

今後、機器の老朽化による更新は行っていく必要がある。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

漏水による無駄な出費を無くすことを求めている。

所属長コメント

更新した漏水探知機を活用して全体漏水件数の３％程度（１１件／３６５件）を発見した。更なる有効活用を図りたい。

評価調整委員会評価

- ☐ 改革改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止
- ☑ 休止
- ☐ 現状のまま継続

担当課の評価のとおり，休止とすべき。